



民児協こもろ

～民生児童委員は市民の皆さんに一番近い相談相手～

編集 小諸市民生児童委員協議会 広報部会

主任児童委員だより

活動内容紹介と「まいさぼ小諸」をお迎えして

連絡会副会長 掛川渡

私は現在、川辺地区選出の主任児童委員を拝命し、市内8名の委員と共に活動しています。

私たち主任児童委員は、小諸市内の小中学生の家庭での生活や学校生活等の中で子どもの抱える問題の解決への糸口となるべく地域の方々や各地区の民生児童委員と相談機関とのつなぎ役として活動しています。

活動内容は
1、民生児童委員各地区会へ参加

児童の家庭での生活の様子を把握し、早急に対応できるよう情報交換する。

2、「子育て何でも相談」の実施

毎月最終火曜日午前10時～正午、市役所3階会議室で2名ずつのペアを組んで行っています。

3、定例連絡会

毎月第3水曜日、市役所

3階会議室において、各地区会及び各地域での主に児童のことに関わって報告

(状況説明や対応内容、その後の状況等)、情報確認、

「子育て何でも相談」の報告、研修会計画実施等を行っています。

4、相談内容を基に各種関係機関に連絡、相談

5、研修会の計画、実施

6、各種研修会に参加

今年度は特に上記5の研修会計画に基づき、2回の研修会が実施できました。

第1回目は6月21日(水)

に地域の子どもたちの居場所づくり研修として西部地区の「芝生田放課後児童クラブ」にお邪魔させていただきました。(広報第5号に掲載)

芝生田放課後児童クラブを訪問して、地域での取り組みなどのお話を聞きました



12月の連絡会ではスキルを高めたいと「まいさぼ小諸」の青井係長、鷹野主任相談員を講師にお招きし「子どもたちの今、そしてこれから」と題して第2回目の研修会を実施しました。

この研修会は、NHKドキュメンタリー番組「ひきこもりの若者を救いたい・長崎五島列島」の放映を得て、まずは私たち小諸市の実態を知ることから始めようという計画されたものです。番組内では、学校でのい

じめが原因で不登校となり自宅に引きこもる若者、進学や就職でのつまずきや対人関係によるトラブルがきっかけとなり、中には10年以上も引きこもっている若者が登場しました。

「まいさぼ小諸」のお話の中で、生活の自立から就労へ、そして経済的にも自立して生活できるようサポートすることの大変さを学びました。

どこまでも一人の人間としての尊厳を守り、本人が動き出すタイミングまで「待つ」ことの大切さ、ご家族への支援も本人のそれと同じ位重要であることなど、貴重な資料をご用意いただき、有意義な研修をさせていただきました。

連絡会では、その他にも「こども食堂の取り組み」等も話題とし、市民の皆様方のご協力もいただき、活動していきたいと思えます。

今後ともよろしくお願ひ致します。

民生児童委員って何？

「おーい、最近いつも居ないけどなにしてるだあ〜」

「ごめんね〜それが、去年から民生児童委員をやっている何かと出歩くことが、ふえちゃって今日も会議だったんだよ」

「ふうん、民生児童委員って何やるだあ」

先日本当にあった友人との会話です。民生児童委員って聞いたことがあっても、活動内容は、知らなかったり誤解されている人が多いようです。

そこで、今回は民生児童委員の日頃の活動内容を簡単に紹介します。

それぞれの地区によっても違いはありますが、共通の活動内容は、行政からの依頼で実態調査、相談、支援等の訪問活動です。

米寿の方にお祝い金をお届けしたり、赤い羽根共同募金を集めたり、一人暮らしのお宅に、月に2回訪問

している友愛訪問もその一部です。

また、ほとんどの民生委員は児童委員も兼ねていて、保育園の入園式、卒園式、運動会等に参加したり、小中学校の教職員との懇談会に出席して、地域の子供達が健やかに育つよう、見守っています。

その他に、研修会や地域の会議、行事等への協力をしています。

そこで、今回より具体的に日頃の活動の中での感じた事や、エピソードなどを『一期多会』としてご紹介していきます。

一期多会

知り合って良かった

「素敵な九十歳」

月に2回の友愛訪問で、何故かお互い顔を合わせるに笑い出してしまおう方がいます。「あつはつはあ〜」と二人笑った後に、ようやく世間話です。昔の苦労話や健康のこと、病院の話、最近のニュース、天気予報など、気が付けば15分位すぐにはたつてしまいます。

先日は、失礼ながら大変驚きました。90歳を過ぎた方に話題の本を紹介されるとは、思ってもいませんでしたから。佐藤愛子さんの「九十歳。何がめでたい」という本です。読書が趣味で、色々な本を読んでいるそうです。早速購入して読ませていただきましたが、90歳どころか、60代の私にも共感する部分が多々ありました。中でも「グチャグチャ飯」は、我が家にも同じ境遇で、同じ名前の猫がいるので、筆者と同じ場所で涙しました。

民生児童委員になって、一年が過ぎました。友愛訪問を通じて、この方と知り合いになれた事を嬉しく思っています。

南大井地区民生児童委員

民生児童委員

100周年を迎え

わが町の仲良し三世代ご家族からお話を

お聞きしました

滝原にお住いの白鳥さんご家族は、二世帯住宅に七人がお住まいです。

おじいちゃん、おばあちゃんとお呼びするには、ほど遠く、まだ現役で働いていらつしやる親世代に協力

してもらい、若夫婦が三人のお子さんを育てています。

「いつもお義父さんとお義母さんに支えられてもらって感謝しています」と里奈さん。

「私たちも孫の成長を見守れることができて幸せ」と富士子さん。

子供の健やかな健康と成長を願う気持ちは誰もが同じです。白鳥さんご家族も子供を中心に皆で力を合わせて、明るい毎日を送っています。

いつも笑顔と笑い声が絶えない、素敵なご家族です。



素敵な九十歳



3人のお孫さんと一緒に撮影
里奈さん（左）、富士子さん（右）